

暮らしの中の人権シリーズ

わたしから はじめる 人権



子どもの人権編



女性の人権編



障がいのある人の
人権編



本編（字幕付き）
各 52,500 円（税込み）
ワークシート付き

わたしから はじめる 人権

企画意図

人権を学ぶ上で大切なこと。それは当事者意識を持つことです。自分の中に他人を差別する気持ちがあることに気づき、どうしたら偏見を取り去り、よい人間関係を作ることが出来るか、模索する。それが人権学習の第一歩となります。

この作品は、日常生活の中で見かける差別を、ドラマパートで取り上げ、続く設問で、視聴者自身の差別意識について問いかけます。そして、ドキュメントパートでは、各テーマ別に、差別された経験のある人々の苦しみや、人としての素晴らしさを伝えてゆきます。自分の中の偏見に気づき、どうその気持ちに立ち向かうか、考えるきっかけとなる作品です。



女性の人権編

ジェンダー ドメスティック・バイオレンス セクシャル・ハラスメント

女性の人権問題を、ドラマ、ドキュメンタリー、解説と三つのパートで構成。指導の手引の設問集とともに、自分が被害者、加害者、傍観者になっていないか、問いかけてゆきます。そして被害者達の心の痛みを知ることを通して、日常に差別があった場合、どうするべきかを考えてゆきます。

子どもの人権編

子どもの権利 いじめ 子どもの虐待

子どもの人権問題を、ドラマ、ドキュメンタリー、解説と三つのパートで構成。大人からは見えない子どもの本音に迫りながら、子どもの人権を守るためにできることは何か考えてゆきます。

『子ども虐待』は、虐待防止センターの相談員の話を中心に、虐待とはなにか。どうしたら防ぐことができるか、掘り下げてゆきます。



障がいのある人の人権編

視覚障がい者 聴覚障がい者 肢体不自由者

それぞれ違う障がいを抱えながら、生きる人々の姿や言葉を通して、障がいのある人々の人権について考えてゆきます。障がいのある人々が、よりよく生きるために私達にできることはなにか、考え行動するきっかけとなります。